



第7回

平成27年度

左官工事PR／会員増強／次世代の育成
貢献者に対する表彰

受賞者活動内容



一般社団法人 日本左官業組合連合会

表彰の趣旨

(一社)日本左官業組合連合会は、
左官工事業の発展向上に尽力し、
功績顕著にして他の模範たる者に対して表彰する。

講評

私が以前、法人会青年部に所属し、子どもたちに租税教育を担当していた頃、東京法人会青年部がキッズニアを利用して子ども税務署を開設し、税のしくみと税務署の仕事等を親子で遊びながら学ぶという方法で成功を収めました。それを見て感動し、左官業界でも実現できないものかと思っていました。そして今回、東京都左官組合連合会からキッズニアを利用したエントリーがありましたことを大変うれしく思います。

ランドセルメーカーのクラレが、新小学校一年生の将来就きたい職業ランキングを発表し、二年連続、職人・大工がベスト10に入りました。パイロット、宇宙飛行士、建築家を押さえてです。しかし、青年になって建築業への就職者が減ってしまうのは、子どもではなく、親や社会の左官に対する理解が、まだまだなのではないでしょうか。

日左連設立の目的である、左官業の社会的経済的地位の向上発展、公共の福祉の増進を念頭に、今後もたくさんのエントリーをお待ちしております。

当委員会は、この表彰制度が日左連の素晴らしいアワードに成長していくことを信じ、会員各位の活動を応援していきます。

最後に、表彰に当たり、ものづくり大学 三原教授、(株)工文社 久保社長各位にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

委員長 町田 卓大



左官工事PR部門(団体)

子どもたちのものづくりの職業に対する意識が変化した キッズニア東京期間限定イベント

東京都左官組合連合会 会長 石川 悦夫

東京都左官組合連合会(市場開拓委員会担当、青年部全面的協力)は、キッズニア東京が子ども達がものづくりの仕事体験を通して、ものづくりの面白さ、やりがいを実感するとともに、世界に誇れる品質や技術の高さについて理解を深め、「日本のものづくり」のすばらしさに気づききっかけを提供したいとの思いから企画した匠のものづくりフェアに「左官職人」として参加しました。

キッズニアとは、メキシコ発祥のさまざまな職業体験ができる施設で、世界13ヶ国16ヶ所、日本には東京と甲子園にあり、「キッズ」という仮想通貨によりリアルな経済活動も体験できる社会空間になっています。

ここには3~15歳の子どもが、遊び目的だけでなく、様々な仕事体験を通じて将来の職業

選択のヒントを得るために、連日、修学旅行生や親子連れが大勢訪れます。

仕事体験時間は9時~21時の12時間、1度に6人が30分の体験をします。5日間で延べ539人の子どもが左官のことを勉強し、漆喰壁の見本を自ら鏝で仕上げました。

見学する保護者には、展示物や調湿効果実験装置を使用して漆喰壁の効能、技能労働者の処遇改善等について説明をしました。

キッズニア東京によると、同社社長はこの「左官職人」をキッズニアの精神に完全に合致したものと評価し、かつてないほどの大反響を呼んで、漆喰壁への塗り替え、子どものものでづくりの職業に対する意識の変化等のご意見が数多く寄せられたとのことでした。

キッズニア東京事業部作成の報告書による「こども・保護者の様子」

こどもの様子

- 真剣にコテの使い方を考え、塗ることに集中出来ていた。
- (匠に褒められて)「大人になったらやってみようかな」と自信がついた様子だった。
- やって見たら少し難しい内容なので、こども達が真剣に取り組む姿が印象的だった。
- 匠の技を食いつくように見ている姿が多く見受けられた。
- (会場に飾られた現代の名工の)コテ絵に興味を持っているこどももたくさんおり、「すごい」「どうやって描いたの?」など質問が多くあった。



- 「もっとやりたい」と話をしてくれたこども達がたくさんいた。
- 数回参加したお子様が「前よりも上手に出来たよ」と満足した様子だった。
- 5年生位のお子様が「もともと興味はあったけど、将来の夢になりました」と話をしていた。
- 「祖父の仕事をやってみたい」と低学年のお子様が参加してくれた。



保護者の様子

- 匠の技にとっても感動していた。
- 保護者の関心が高く、お子様に薦めている姿や保護者のみの見学も多くみられた。
- 服の汚れを気にされる保護者が多いことを懸念したが、「汚れてもいいから」と送り出す姿ばかりだった。
- お子様のお仕事の様子をみて、涙ぐんでいる保護者もいた。

日刊建設通信新聞社(10月15・24日掲載)、工文社(「建材フォーラム」「建築仕上技術」11月号掲載)、読売KODOMO新聞(10月30日掲載)、FMえどがわでも紹介されました。

審査員総評

左官工事のPRのために「キッズニア」にて塗り壁体験を企画することに着目した点が素晴らしいと思いました。左官の仕事をお子たちに知ってもらい、大工以外の仕事もあることがわかったことに対する評価は大です。是非とも、根気強く、継続行事としていただきたいと思います。

キッズニア東京への協力は、将来を担う子供たちに「左官」の魅力を知って頂く上で、意義ある活動だと思う。何年前、孫3人を連れて行ったことがあったが、そこに左官や大工など建築専門工事のコーナーがなく、寂しい思いをした記憶がある。期間限定の企画とはいえ今回、「左官職人」のコーナーが設けられたのは嬉しい。将来を見据え、今後は「左官」など「建築職人を体験出来るコーナーの常設化」への取り組みにも期待したい。

ものつくり大学 教授 三原 斉

(株)工文社 代表取締役社長 久保 賢次



左官工事PR部門(団体)

18団体の後援を得て、「上方左官まつり」を開催

大阪府左官工業組合 理事長 邑智 保則

当組合は平成25年度から学校での出前講座を始めとして、参加型子供施設等で左官の実技指導などを積極的に行い、左官業の魅力を伝え、左官業への関心を高めて来ました。

平成27年度はこれに加え、一般市民の方々へ左官業の役割や魅力をより一層理解していただくために、近畿地方整備局、大阪労働局、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会を含め18団体の後援を得て、「上方左官まつり」を開催しました。

期間 平成27年 9月20日(日)~21日(月・祝)
会場 ORC200 オーク広場

(大阪市港区弁天1-2-4)

開会式には、衆議院議員の左藤 章先生(自民

党、左官業振興議員)、中山泰秀先生(自民党、左官業振興議員)、国重 徹先生(公明党)、一般社団法人 大阪府建団連 北浦年一会長様等にご臨席いただき、ご挨拶を賜うることができました。大阪府知事様からは、祝電をいただきました。

一般市民を対象にした初めてのイベントでしたが、来場された方々には、家族ぐるみで楽しく左官を体験していただきました。アンケート調査結果でも、96.3%の人が「左官に関心を持った」と答えており、左官に対する興味・関心呼び起こさせることができました。

「上方左官まつり」は、同組合がこれまで行ってきた「出前講座」を一般市民レベルに拡大させたイベントで、2日間で1,800名もの人々が参加するなど大成功だった。来場者のアンケートでも96.3%(回答者82名中、79名)の人が「左官に関心を持った」と答えた。職業柄、一つ気になったのは「来場のきっかけ」で、ポスター、口コミに比べ新聞や雑誌等、既存媒体を挙げる人がなかった事だ。結果報道も重要だが、開催告知(報道)について課題も見える。

(株)工文社 代表取締役社長 久保 賢次



左官工事PR部門(個人)

現代の土壁 樹脂無添加珪藻土壁の普及と 後継者育成の為に

(株)根子左 代表取締役 根子 清

建築の工業化、効率化で設計図書から左官の塗り壁が昭和50年頃より無くされて、左官技能者が廃業、激減を余儀なくされてきた中。ビニールクロスに勝てる壁として、また左官仕上げの塗り壁の復活を目的に、20年前に開発された日本の気候風土に適合し、高温多湿の気候から、日本人の命、健康を守ってきた土壁、漆喰壁の機能を持つ樹脂無添加珪藻土壁の施工工法の研究に努め、普及活動の為、論文発表、官庁、設計事務所、一般市民への研修会・セミナーを平成10年より開催し、左官の塗り壁の啓蒙、復活のため活動を展開してきた。

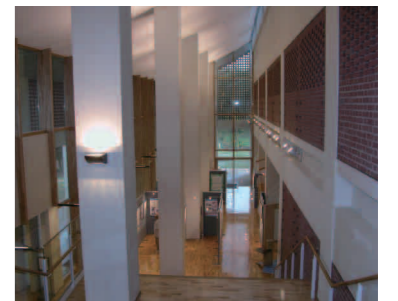
樹脂無添加珪藻土壁の啓蒙、普及推進により、シックハウス問題を解消でき、住む人の健康、命を守れる、癒せる居住環境が理解され、県営住宅、学校、保育所、老人ホームに採用され、茨城県内施工実績は約15万㎡である。

樹脂無添加珪藻土壁は施工が難しい壁であったがコンクリート打ち放仕上げのPコーン埋め、サンダー掛け、下地調整の簡単な仕事では得ることのできない仕上げの塗り壁の難しさ、楽しさを若手技能者に取り組みせ、体験させる事により、左官としての使命感、誇り、感動を与えられることが出来、若手技能者の退職、転職防止につながり、定着化を進めることが出来た。

弊社では昭和50年より後継者育成に取り組んできた。珪藻土壁に取り組む平成11年までに採用者65名中退職者53名である。平成12年より採用者40名中退職者11名と退職に歯止めを掛けることができています。

現在までに30名の後継者を育成し、1級技能士18名、2級技能士7名養成。現在8名の左官見習いを養成中。技能五輪では金メダル1名、銀メダル4名、銅メダル3名の受賞者を育成することができたのも、若手技能者が施工の難しい樹脂無添加珪藻土壁に取り組み、左官の誇り、使命感を持つことができたお蔭であると思っている。

現在左官の仕上げの塗り壁の多くは施工が簡単な樹脂添加型が多く、又調湿機能が無く、日本の風土に適合しない壁が多い。左官業界簡単な壁を塗ることにより、技能の低下を招き、左官の誇り、使命感を失ってきた。左官業の復活の為、若手技能者に左官の喜びを与え、後継者育成の為に、又健康で快適な居住環境を提供して日本の子供の未来を明るくするために樹脂無添加珪藻土壁の普及に邁進していきたい。



毎年、技能五輪全国大会に若者の左官技能者を出場させたり、自然素材である珪藻土の材料の特性を活かした施工法の研究等、全国の左官工事業者や材料メーカーにインパクトを与え続けておられることは、大変素晴らしいことです。是非とも、これまで研究されたことを、若者の左官技能者に継承していただきたいと思います。

ものづくり大学 教授 三原 斉

根子清氏の行動は己が無い。無いというより公を何よりも重視して深い。「一人は皆の為に、皆は一人の為に」を長年実践してこられた稀有の人だ。左官材料を知悉し腕も好いから謙虚でもある。同氏が建築家団体や役所主催のセミナーで評価が高い理由がそこにある。産経新聞の名物コラム「産経抄」の筆者は、根子さんに叱られたと兜を脱いだ。味付けの濃い派手な「料理」より舌当りは地味だが、健康に良い根子氏の「料理」を筆者は食べたい。

(株)工文社 代表取締役社長 久保 賢次

大変な準備と費用および会員の方々のご努力がひしひしと伝わってきます。また、「上方左官まつり」を開催するという発想がとても良かったです。大阪で行われているお祭りと同時間開催することや、イベント等とコラボレーションされると、さらなる効果が期待できるのではないのでしょうか。例えば、天神祭り、吉本興業など。

ものづくり大学 教授 三原 斉



左官工事PR部門(団体) 「児童クラブ」へのもの作りマイスター 派遣事業について

静岡県左官業組合 理事長 村林 照夫

27年4月に県職業能力開発協会から「児童クラブ」への鏝砂絵体験依頼が静岡県左官業組合技能士会を通じて、もの作りマイスター(厚労省登録者)に実技指導を要望されました。その時点で登録者は6名しかおらず、事業に対して人手が足らず新規に9名の方にももの作りマイスターに加わってもらい、15名の認定者と各地の補佐員23名の方にも協力を願い、総勢38名にて役割分担し5月27日富士市ハッピークラブを手始めとし、10月26日の袖師児童クラブまで5ヶ所計260名(先生13名、生徒1~4年生147名)の方に鏝砂絵の実技指導をしました。

体験前に左官の仕事について「左官資料」等を使い左官の歴史や、左官屋はどういう仕

事なのかを分かり易く説明し、安心・安全・健康に良い、防火に強い等をPRしてから実技に入りました。教室が狭かった為、鏝砂絵をするグループと半分ずつ交代制にし、待っている間にプラスターボードへしっくい材にて塗り体験を行いました。なかなか上手く塗れず四苦八苦していましたが、楽しそうに活動していました。

体験学習終わりに左官についても一度質問や感想を聞き、自分たちが作った作品を持ち帰り親御さんに左官の仕事についてやその作品について等よく話す事を宿題として閉会しました。対象者が低学年の為大変でしたが、後日御礼の手紙が届き有意義であったと感じました。

静岡県左官業組合 技能士会 増田 一久



次世代の育成部門(団体) 茨城県左官工業連合会青年部の復活と 青年部の左官PR活動

茨城県左官工業連合会 会長 根子 清

茨城県左官工業連合会青年部は昭和46年水戸市左官工業組合青年部として19名で発足し、最盛期の昭和56年には部員数92名を誇り、成人教室、左官教室、青壁新聞の発行など活発に活動し、茨左連の活動を支えてきました。

昭和50年前後から、建築の合理化、効率化が大きく推進し塗り壁が無くされる中で、青年部員が他職へと転業し、部員の減少に歯止めがかからず平成3年に解散した。

平成10年水戸市左官工業組合50周年記念事業として青年部育成基金を設けて部員数10名で再スタートしたがバブル後の建設業不況の中で10年間低迷、強い危機感の中で何度も青年部復活への協議を重ねてきた。

平成21年青年部に人材を得ることができ再々発足し活発に活動を再開することができた。平成22年には日左連青年部に加入し、全国の青年部との交流を深め、同年11月に青年部水戸サミットを開催している。

以来、茨左連の有力支部として、茨左連技能士会との左官技能のPRと啓蒙活動に邁進している。



大勢の児童および教員に左官体験を行われたことに敬意を表します。さらなるPRの効果を期待するのであれば、例えば、県下の市町村の教育委員会等と連携して夏休み等を使用し、「左官サイエンススクール」等を開催されると良いのではないかと思います。

ものづくり大学 教授 三原 斉

同組合が県内5ヶ所の「児童クラブ」に在籍する児童向けに実施した鏝砂絵教室(体験)には260人の子供たちが参加した。感想文に綴られた子供たちの純真な心に触れ、この活動は左官のPRだけでなく、既に立派な情操教育の場になっていると感じた。講師の方々も子供たちも共に楽しい場だったのではないかと。「児童クラブ」は全国で約2万ヶ所、そこで放課後を過ごす児童は88万人というデータもある。国の支援情報を集め、各地で普及させたい。

(株)工文社 代表取締役社長 久保 賢次

若者の技能者が減少している中で、再び青年部を立ち上げるとことは至難であり、その苦労がしっかりと伝わってきます。是非とも、再生青年部がこれからの左官業界をけん引していけるようなくみづくりを積極的に行っていただきたいと思います。

ものづくり大学 教授 三原 斉

同連合会の青年部は平成の初期、会員の減少等の理由で解散している。平成21年に再発足して以来、県内の小中学校の生徒を対象に「ものづくり体験教室」などを開催してきた。体験教室ではものづくりマイスターや技能五輪のメダリスト等が講師を務めた。平成22年8月から25年8月までの4年間で11回開催し、受講人数は409名に及ぶ。左官のPRを行う一方、「次世代の育成」に努める等、地道だが、同連合会の堅実な活動に敬意を表したい。

(株)工文社 代表取締役社長 久保 賢次

受賞歴

| 受賞年度/回 | 部門 | 受賞者 |
|-------------------|------------|--|
| 第1回 平成 21年度 | 左官工事PR(団体) | 宮城県左官工業組合連合会青年部 `乗り合いバスを利用した左官PR活動、 |
| | 会員増強(団体) | 宮城県左官工業組合連合会 `会員(新規・再加入)加入促進の取り組み、 |
| 第2回 平成 22年度 | 左官工事PR(団体) | 大阪府左官工業組合 `キッズプラザでの親子塗り壁体験活動等を通じての左官PR活動、 |
| 第3回 平成 23年度 | 左官工事PR(団体) | 釧路地方左官業協同組合 `伝統工法・現代工法を融合した左官技術のPRと地域社会への貢献、 |
| | 次世代の育成(団体) | 宮城県左官工業組合連合会 `次世代の育成にマンガでガイド、 |
| 第4回 平成 24年度 | 左官工事PR(団体) | 新潟県左官同業会 `漆喰塗り工法の普及への取り組み、 |
| | 会員増強(団体) | 岐阜県左官業組合連合会 `エコポイントで塗り壁普及と組合員増強への取り組み、 |
| 第5回 平成 25年度 | 左官工事PR(団体) | 最優秀賞 東京都左官職組合連合会 `あらゆる左官PRイベントが一堂に会した「大江戸左官祭り」、 優秀賞 北九州市左官業協同組合 `北九州市制50周年記念事業 左官deエコ「技術の伝承!!」、 入選 大阪府左官工業組合 `出前講座で「左官業の役割」をPR、 |
| | 次世代の育成(団体) | 入選 神奈川県左官業組合連合会 `次世代の育成、 |
| 第6回 平成 26年度 | 左官工事PR(個人) | 優秀賞 ハマニ株式会社 代表取締役社長 河合 滋 `「塗り壁体験会」を通して左官、塗り壁の良さをPR、 |
| | 会員増強(団体) | 最優秀賞 (一社)日本左官業組合連合会 青年部 `着実に会員増強を果たす、 |
| | 次世代の育成(団体) | 入選 大阪府左官工業組合 `「土かべぬり体験実習」等のイベントを青年部を中心に活動、 |
| 第7回 平成 27年度 | 左官工事PR(団体) | 最優秀賞 東京都左官組合連合会 `子どもたちのものづくりの職業に対する意識が変化した キッズニア東京期間限定イベント、 優秀賞 大阪府左官工業組合 `18団体の後援を得て、「上方左官まつり」を開催、 |
| | 左官工事PR(個人) | 優秀賞 (株)根子左 代表取締役 根子 清 `現代の土壁 樹脂無添加珪藻土壁の普及と後継者育成の為に、 |
| | 左官工事PR(団体) | 入選 静岡県左官業組合 `「児童クラブ」へのもの作りマイスター派遣事業について、 |
| | 次世代の育成(団体) | 茨城県左官工業連合会 `茨城県左官工業連合会青年部の復活と青年部の左官PR活動、 |

平成28年5月24日
第7回「左官工事PR」「会員増強」「次世代の育成」
貢献者に対する表彰

審査委員会(会員増強・労務対策研究委員会)

学識審査委員 三原 斉 (ものづくり大学教授)

学識審査委員 久保 賢次 (㈱工文社 代表取締役社長)

担当副会長 長谷川 哲義 (群馬県)

委員長 町田 卓大 (栃木県)

委員 小石 嵩明 (岐阜県)

委員 伊藤 俊一 (宮城県)

委員 阿嶋 一浩 (東京都)

委員 中屋 敷 剛 (北海道)